

甲南大学法科大学院の閉校のご挨拶	1
本法科大学院の活動報告	
石井 昇	3
差止訴訟（行訴法3条7項）と義務不存在確認訴訟 ——最判令和元年7月22日を参考にして——	
石井 昇	19
SNSの著作権	
板倉集一	25
実務家から見た法教育に関する論説	
黒根祥行	33
シュニツァーの連結理論（その二）	
櫻田嘉章	43
消費者契約法10条による差止訴訟の実務と展望	
鈴木尉久	117
薬物戦争の終わり ——人びとはなぜかくも懸命に戦ってきたのだろうか——	
園田 寿	133
定義づけ比較衡量と比例性に関する試論	
高橋 靖	151
租税訴訟における司法判断と専門家の責務	
丸山晃弘	185
訴訟上の反対相殺の再抗弁について	
宮川 聡	211
【判例評釈】 明示の一部訴求がなされ訴訟が係属しているときに、 残額債権の支払いを求める別訴を提起することは民事訴訟法142条の類推適用により許されないとされた事例 損害賠償等請求事件 東京地方裁判所平成30年(ワ)第34702号 令和3年4月20日民事第26部判決	
宮川 聡	221
【研究ノート】 BitTorrentによる著作権侵害についての残課題 ——原告が立証責任を負うべき具体的事実についての検討——	
伊藤英明	233
【研究資料】 刑事手続における視覚障害者の権利保障	
第1部 刑事手続と視覚障害 ——問題の提起——	
渡辺颯修	237
第2部 視覚障害を有する弁護士のインタビューに学ぶ	
渡辺颯修、山崎 茜	243
第3部 視覚障害者の権利保障のために ——多角的な検討——	
板原 愛、堀田零生、山田直子	260
編集後記・奥付	267

---